

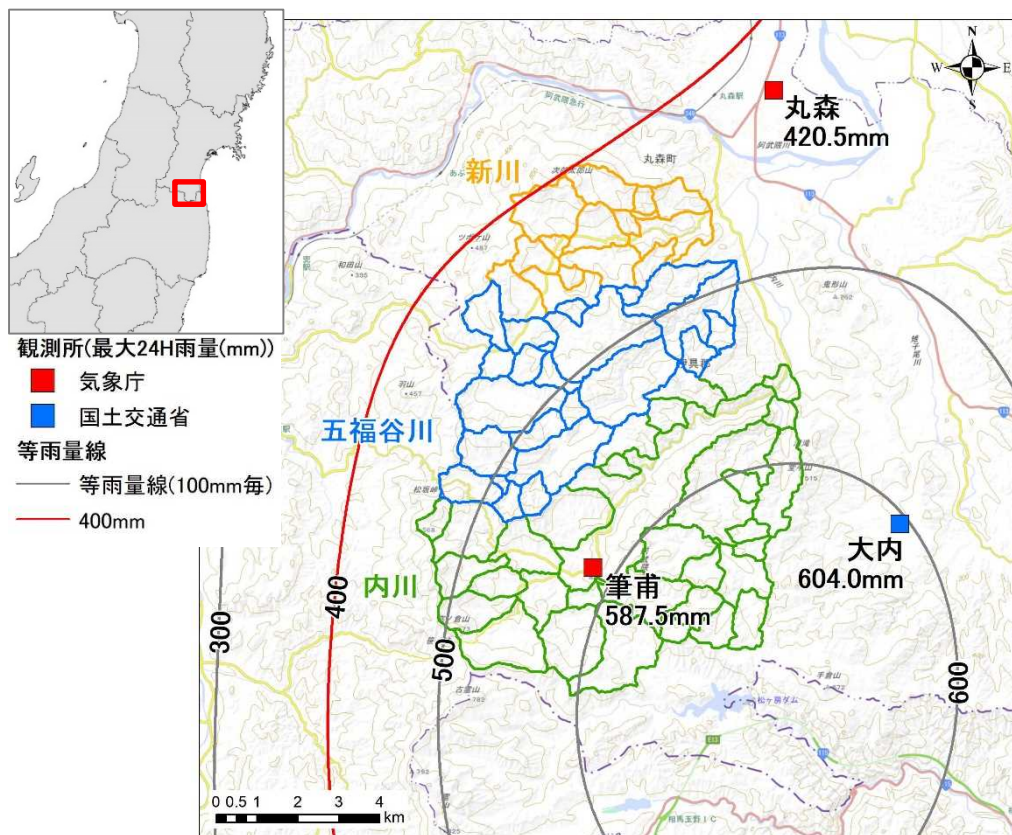
一級河川阿武隈川水系内川特定災害復旧等河川工事  
一部完了引渡式



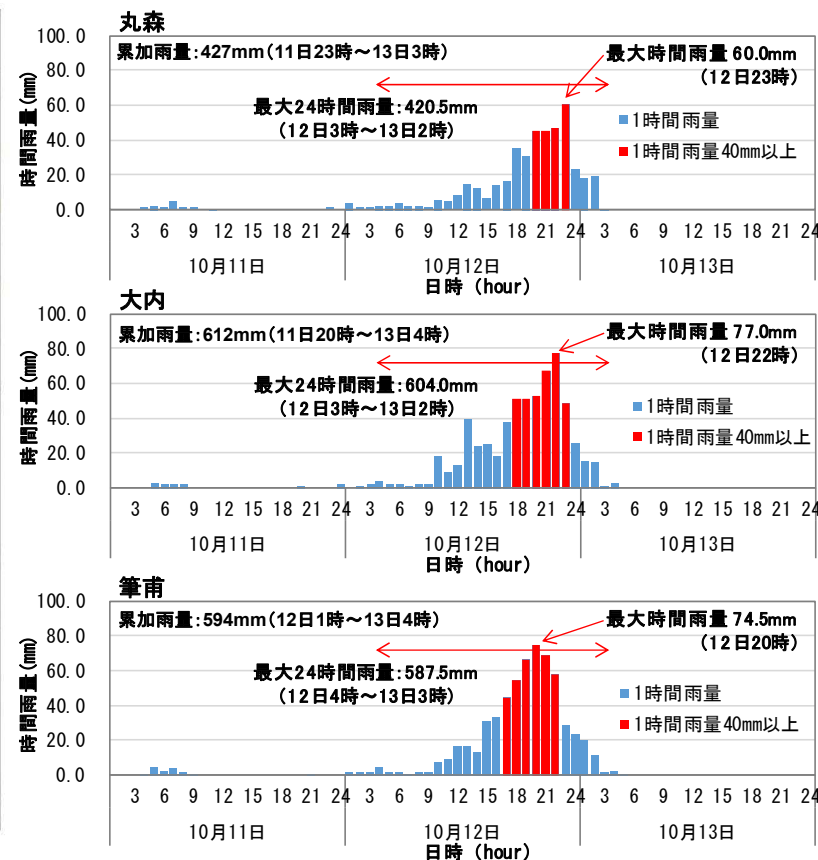
国土交通省 宮城南部復興事務所  
宮城県 大河原土木事務所

# 気象状況（令和元年東日本台風〔台風第19号〕）

- 10月11日から前線の影響で雨が降り出し、12日には台風第19号の接近により昼過ぎから激しい雨となった。台風第19号の接近・通過に伴い、12日夕方から13日未明にかけては非常に激しい雨となり、局地的には猛烈な雨となった。
- 最大24時間雨量は丸森町大内観測所(国交省) **604.0mm**(12日3時~13日2時)、筆甫観測所(気象庁) **587.5mm**(12日4時~13日3時)、丸森観測所(気象庁) **420.5mm**(12日3時~13日2時)であった。〔筆甫観測所24時間雨量 $\div$ 1/710〕
- 丸森観測所の既往最大日雨量※(S61.8.4) 283.0mm、100年超過確率日雨量※388mmを上回る結果となった。  
※宮城県河川技術資料第111号「宮城県における降雨強度式の決定(改訂版)」(H8.4.1)



※等雨量線は丸森周辺の22の観測所（気象庁：18箇所、国土交通省：4箇所）から作成した。



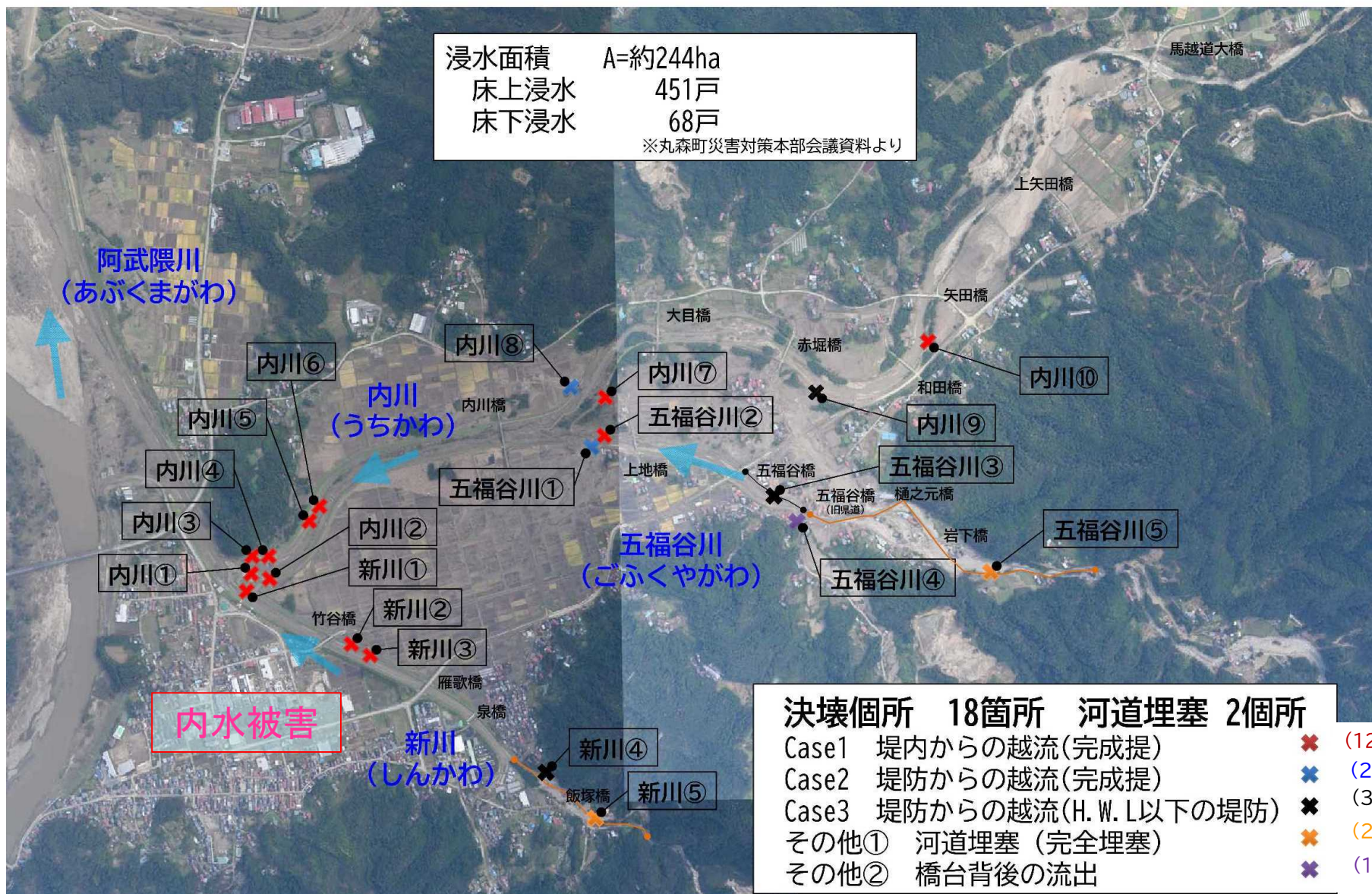


# 土砂・洪水氾濫状況 (R1. 10. 13)





## ① 主な被災状況 被災概要





### ■河川災害復旧等事業(直轄権限代行)の概要

東日本台風の記録的な大雨により、堤防決壊(18箇所)した宮城県が管理する阿武隈川水系内川、五福谷川及び新川において、権限代行により「災害復旧事業」及び「災害復旧助成事業」(治水安全度:1/10⇒1/30)を実施する。

#### ■事業費:約218億円

- ・災害復旧事業:約88億円
- ・災害復旧助成事業:約130億円

#### ■事業期間:令和元年度～令和6年度

#### ■実施区間:

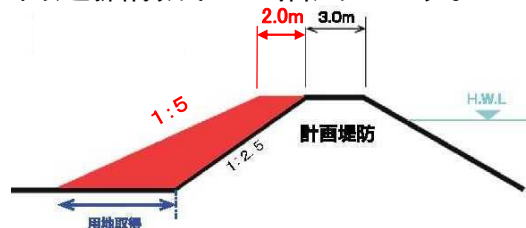
- ・災害復旧区間 護岸復旧:18箇所
- ・災害復旧助成区間 約8.5km

#### ■事業内容

- ・災害復旧:決壊箇所及び護岸の復旧
- ・災害復旧助成  
河道掘削(流下能力の向上:1/10⇒1/30)  
堤防機能強化  
堰、橋梁、樋管改築(改良計画に合わせた施設改築)

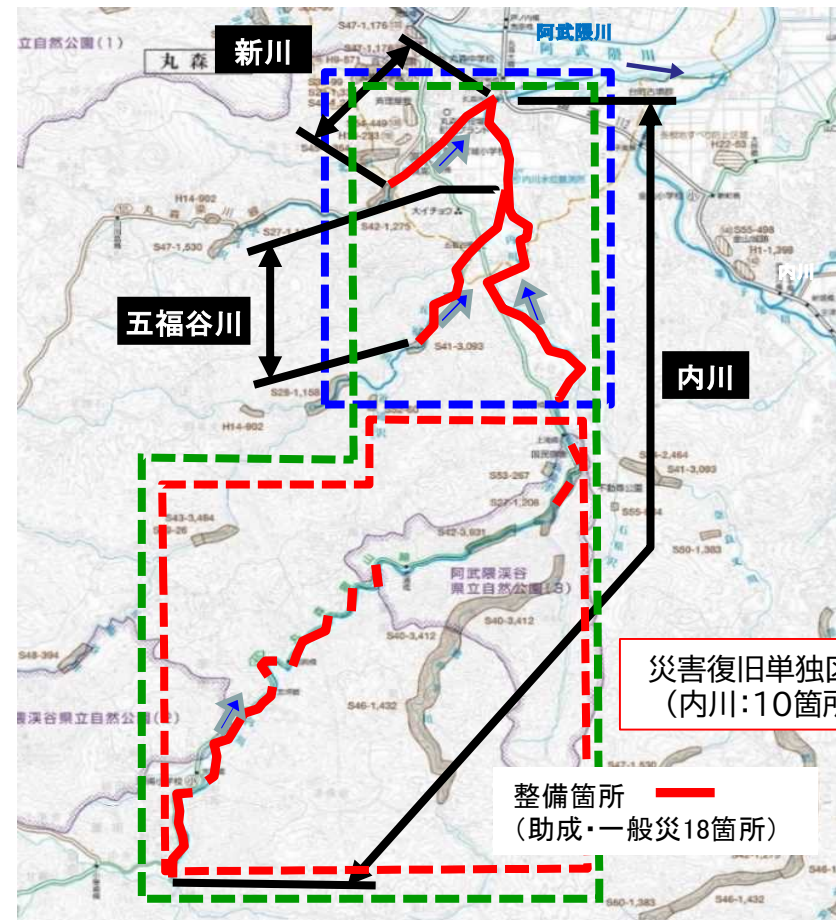
#### 【堤防機能強化工法(断面拡大)】

計画規模を上回る洪水が発生した場合においても、堤防が決壊するまでの時間を引き延ばして、避難のための時間を出来るだけ確保する対策を行うこととしております。  
盛土材は河道掘削残土を活用します。



#### ■河川災害復旧工事(直轄権限代行)の範囲

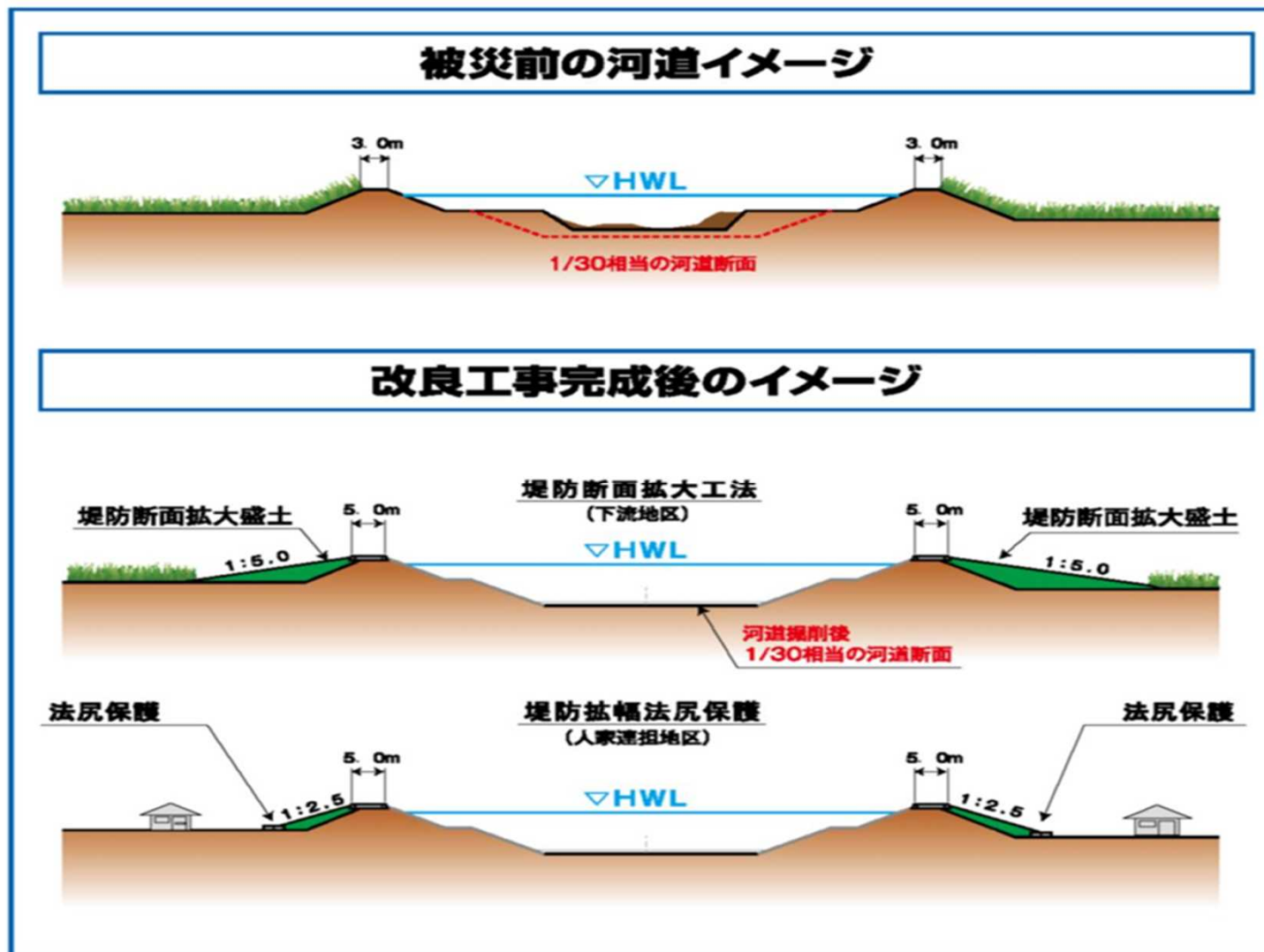
- 災害復旧区間 ・護岸復旧 N=18箇所  
(内川:14,五福谷川:2,新川:2)
- 災害復旧助成区間 ・河道掘削、堤防機能強化等





## ■災害復旧助成事業概要

流下能力を向上させるため「河道掘削」を行うとともに、計画規模を超える洪水に対する「堤防機能の強化」を図るなどの改良工事を実施する。









【被災状況】



【復旧状況】





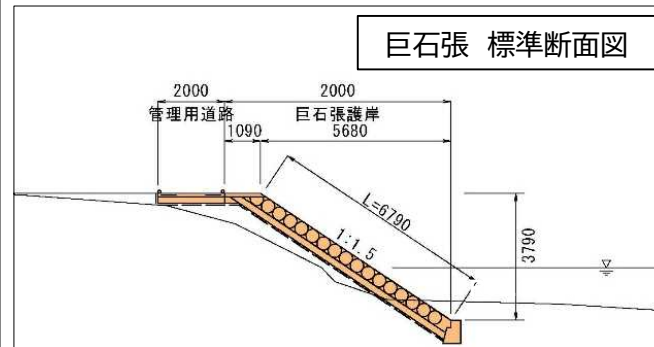
【被災状況】



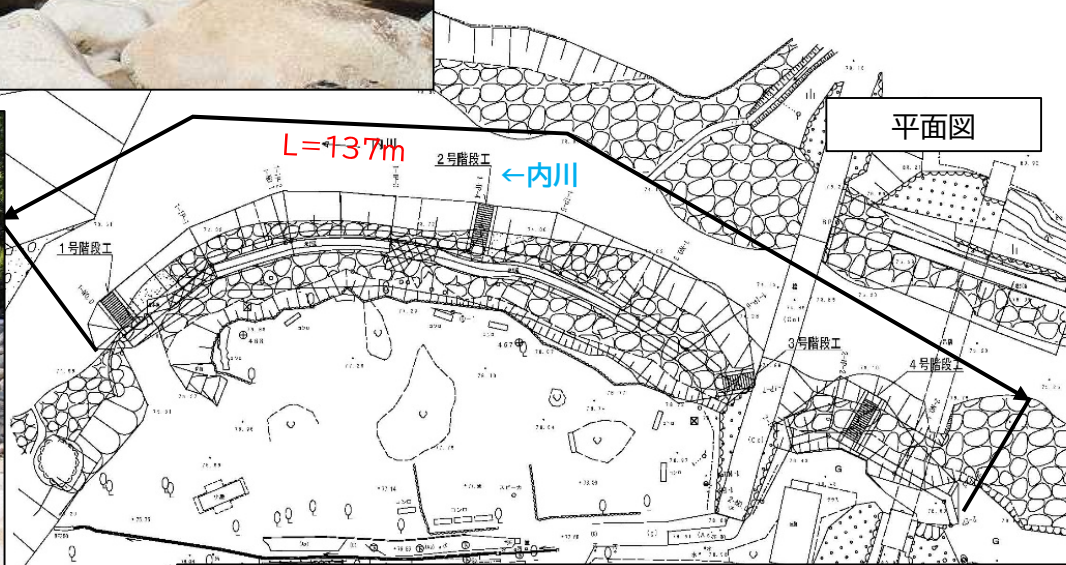


「丸森町の石工職人による東日本台風で発生した巨石を活用した護岸」が完成(不動尊公園キャンプ場内)

復旧後の利用状況 R03.08撮影



R03.08撮影



- 巨石(0.4~0.6m; 200~700kg)は約3,000個使用
- 現地での不足分(約20%)は五福谷川より運搬して活用。



【被災状況】

内川⑦ L=85.0m



【復旧状況】





【被災状況】



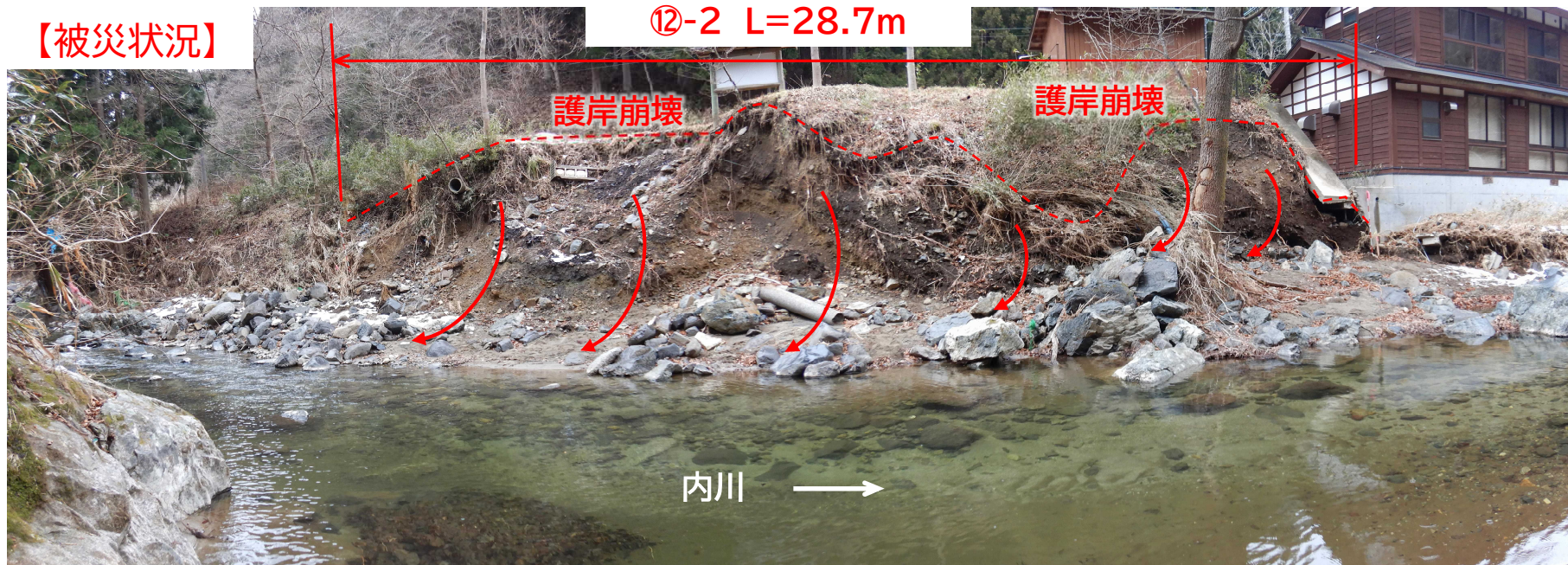
【復旧状況】





【被災状況】

⑫-2 L=28.7m

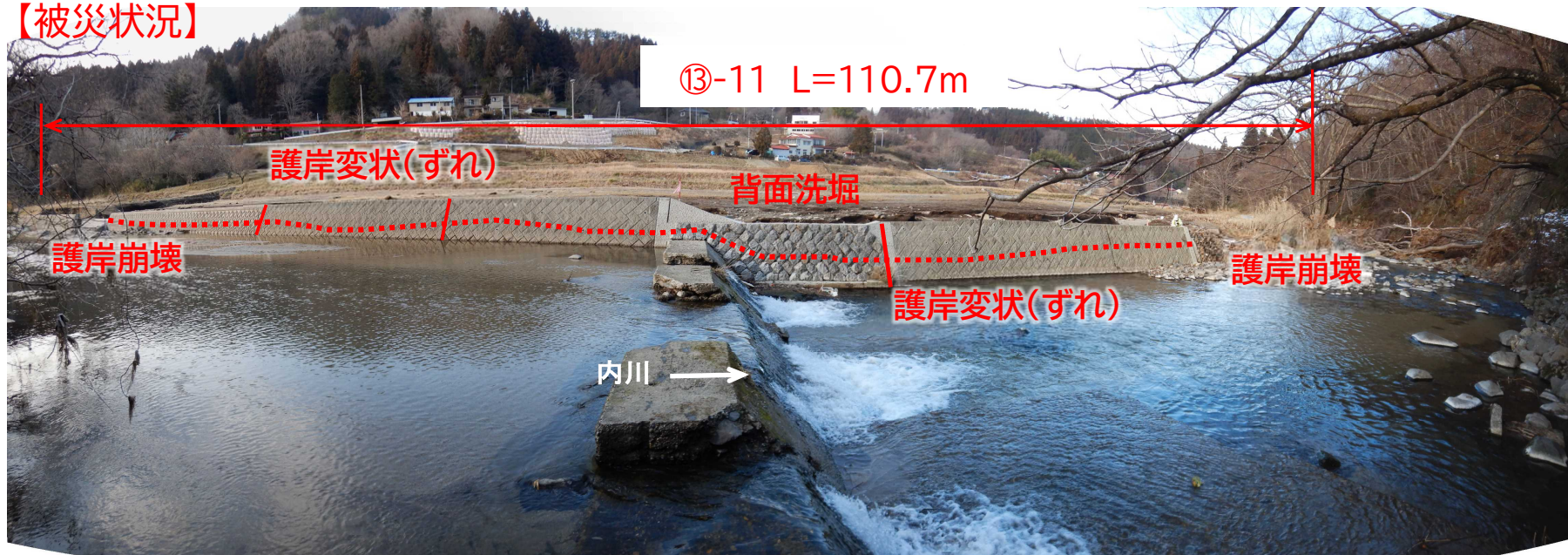


【復旧状況】





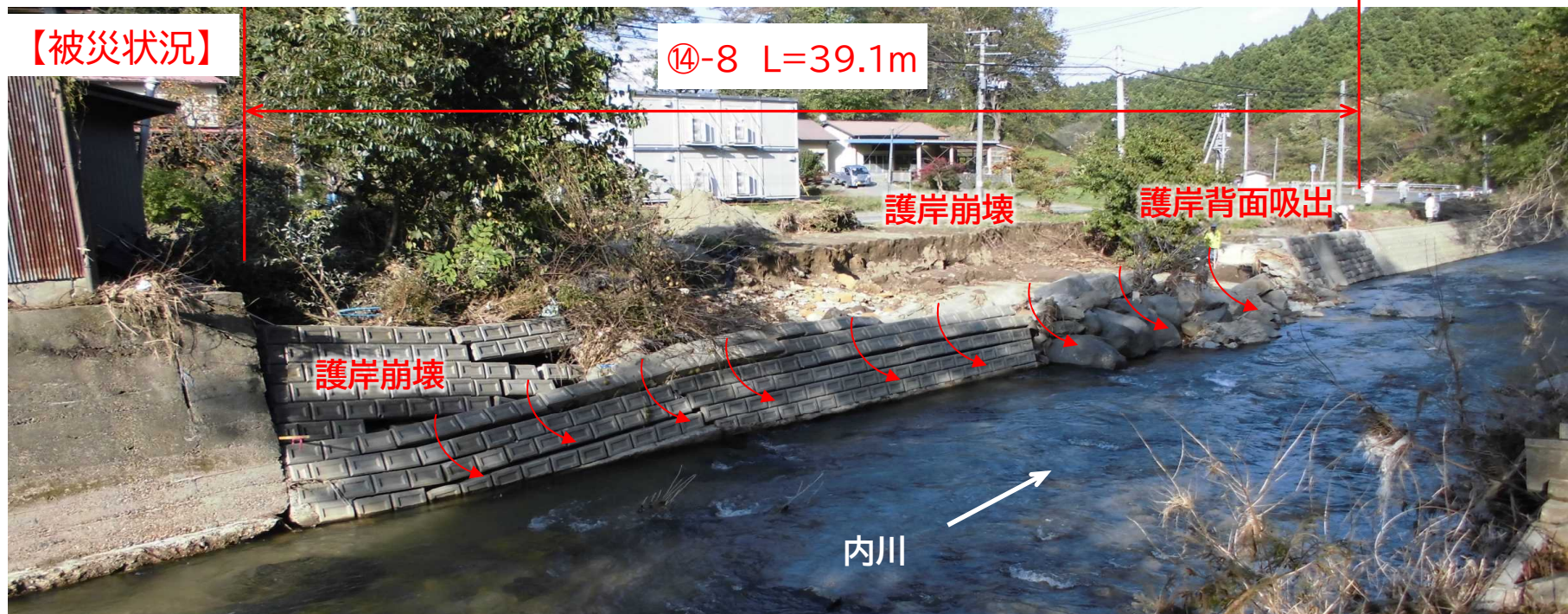
【被災状況】



【復旧状況】









【被災状況】

⑭-12 L=99.8m



【復旧状況】





【被災状況】



【復旧状況】

